

SDGsおよびCSRに関する取組みについて

SDGsポリシー

なんとミッションである「地域の発展」「活力創造人材の創出」「収益性の向上」の遂行を通じ、持続可能な地域社会の実現に向けて、地域が抱える社会問題を主体的に解決してまいります。

SDGsの重点取組目標

SDGsの17項目の内、地域の発展と当行の事業戦略に強く関連する「4 教育」「8 経済成長雇用」「9 技術革新」「11 まちづくり」「12 消費・生産」、および持続可能な地域環境保全への取組みとして「13 気候変動」「15 陸上資源」の7つを重点取組目標として選定し、達成に向けて取組む



【生きがいも経済成長も】
地域事業化への取組み、
金融アクセス・サービスの
拡充



**【産業と技術革新の
基礎をつくろう】**
Fintech等を通じた顧客
利便性向上



【質の高い教育をみんなに】
金融経済教育の推進・拡大



【住み続けられるまちづくり】
地域の課題に向き合い、経済と
コミュニティの活性化へ貢献



【つくる責任つかう責任】
持続可能な消費と生産



**【気候変動に具体的な
対策を】**
低炭素社会実現



【緑の豊かさを守ろう】
持続可能な森林環境の保全

具体的な取組み

〈ナント〉SDGs私募債

本商品は、寄付や寄贈を通じて国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同する企業が私募債を発行し、当行が受領する社債発行手数料の一部から起債企業の希望を踏まえ、寄付や寄贈を行うものです。

具体的には、起債額の一定の割合の範囲内のなかで、当行が教材・備品やスポーツ用品・遊具など「児童・学童などの成長や勉学を応援する物品」を購入し、当行営業エリア内かつ起債

企業さまが指定する保育園・幼稚園や小・中・高・大学等に寄贈するものです。

・SDGs私募債の実績（2019年4月～2020年3月末まで）
4,630百万円／61件

※CSR私募債の実績（2015年7月～2019年3月末まで）
10,290百万円／121件

環境への取組み



「吉野の桜を守る会」への参加

当行は、近年、衰退の兆候が目立つ世界遺産・吉野山（奈良県吉野町）のシロヤマザクラ（約3万本）を守るため、官民をあげて設立された「吉野の桜を守る会」に特別会員として参加しています。

各種イベントへのボランティア・スタッフの派遣など、地元金融機関として「吉野の桜」の保護・育成活動に積極的に協力しています。



イベント時の募金活動

社会貢献活動



公益財団法人 南都育英会

地元の人材育成に奉仕するため、奈良県下に居住する人柄・学力とも優秀な高校生・大学生を対象に、奨学金援助を行っています。

金融経済教育への取組み

当行は、地元中学校等への講師派遣や銀行見学・実習生の受入れ、「全国高校生金融経済クイズ選手権“エコノミクス甲子園”」奈良大会、親子金融セミナーの開催など、地元における金融経済教育に積極的に取り組んでいます。



エコノミクス甲子園奈良大会

南都銀行ホッケー部

当行は、わかくさ国体に向けて1982年に女子ホッケー部を創部し、奈良県を中心にスポーツ振興に努めています。現在、奈良市認定の「Top Sports City 奈良」のパートナーチームとして、同市のスポーツ事業への参加や学校訪問の実施、また地元小学生を対象にしたホッケースクールを開催するなど、ホッケー競技を通じて地域社会への貢献や交流に力を入れています。



今後の取組み方針

6月1日をもって予定どおり完了する店舗ネットワークの再編によって生じた空き店舗の利活用も検討。具体的には、地公体や地元企業と連携を図り、地域の発展やお客さまのニーズに合うようなサービスの提供などに取組んでいきます。

利活用例	目的	効果	イメージ
保育園 託児所	子育て支援	・子育て世代流入 ・女性の社会進出促進	
食品宅配 販売拠点	山間部・高齢者等の 買い物困難者支援	・地域人口の維持 ・地域消費の維持・増加	
開業・起業 支援施設	創業支援	・地域雇用の増加 ・県内就業率の増加	